

個に応じた指導を充実させるための 指導方法に関する調査研究

(1 年次)



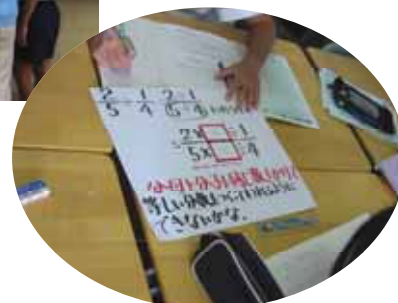
平成 1 8 年 3 月

埼玉県立総合教育センター

目 次

調査研究の概要

- 1 調査研究の趣旨
- 2 研究の視点
- 3 研究の方法
- 4 研究計画・対象校種等



資 料

各教科の調査研究成果（実践事例）

1	国 語	概要	事例 1	事例 2	おわりに
2	社 会	概要 おわりに	事例 1	事例 2	事例 3
3	算 数	概要 事例 3	事例 1 事例 4-1	事例 2-1 事例 4-2	事例 2-2 事例 4-3
4	理 科	概要	事例 1	事例 2	おわりに
5	生 活	概要	事例 1	事例 2	おわりに
6	音 楽	概要 おわりに	事例 1	事例 2	事例 3 事例 4
7	図画工作	概要	事例 1	事例 2	事例 3 事例 4
8	家 庭	概要 おわりに	事例 1	事例 2	事例 3 事例 4

研究協力委員名簿

平成 17 年度調査研究

「個に応じた指導を充実させるための指導方法に関する調査研究」（小学校）

調査研究の概要

1 趣 旨

平成 15 年 12 月に学習指導要領が一部改正され、学習指導要領の「基準性」の一層の明確化、及び「個に応じた指導」の一層の充実が示された。このことは、学習指導要領に示す基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るとともに、各学校の裁量により創意工夫を生かした特色ある取組を行うことが、よりできるようになったということを示している。今後は「確かな学力」を育成し、「生きる力」をはぐくむという学習指導要領のねらいの実現を図るための一層の努力が求められている。

＜小学校学習指導要領 第 1 章 総則 第 5

指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項＞

2 (5) 各教科等の指導に当たっては、児童が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や児童の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。

下線が、今回の一部改正で新たに加わった内容

【資料 1・2】

2 研究の視点

学習指導要領一部改正の趣旨をふまえ、調査研究協力委員の所属校での実践を通して、個に応じた指導を充実させるための指導方法の工夫改善に関して調査研究を行う。

(1) 発展的な学習での教材・教具の開発と効果的な活用の事例

- 平成 17 年度教科書における「発展的な学習」を参考に、児童の実態に応じた発展的な学習素材の開発とそれを用いた実践、及びその成果について検証する。

(2) 補充的な学習で基礎・基本を確実に定着させるための指導事例

- 指導方法を工夫し、繰り返し指導など「おおむね満足と判断される状況」に達するための個に応じたきめ細かな指導方法について実践し、その成果について検証する。

(3) 少人数指導における効果的な学習形態についての研究

- 少人数加配教員の効果的な配置により、個に応じたきめ細かな指導方法の工夫・改善を図り、その成果について検証する。

(4) 学習内容の習熟の程度に応じた指導の事例

- 学習内容の習熟の程度に応じた効果的な指導方法・指導形態の在り方について検証する。

3 研究の方法

(1) 協力委員の学校における実態把握

- ・少人数指導の実施方法（何学年で、どの教科で、どのような形態で…）
- ・児童の実態調査（情意面・態度面・学力面など） 保護者・教職員の意識調査

(2) 研究計画の立案と実践

- ・習熟の程度に応じた少人数学習、学習課題の興味・関心に応じた少人数学習、単元のまとめ段階の課題選択学習など、多様な指導形態の工夫により授業改善を図る。
- ・「教育に関する３つの達成目標」との関連を踏まえ（国・算）達成目標が確実に身に付いているかを検証問題によって把握しながら、基礎・基本が確実に定着してきたかどうかを検証する。
- ・平成１６年度調査研究「確かな学力をはぐくむための教科指導に関する調査研究」から継続して研究できるものについては、それを考慮する。
- ・協力委員の学校における効果的な指導法について、客観的データに基づいて分析し、効果について検証する。

(3) 実施上の成果と課題の明確化

- ・学習状況調査の実施（国や県が実施した調査を活用）
- ・児童の情意面・態度面での変容の把握
- ・保護者・教職員へのアンケートの実施・分析
- ・少人数指導の場合のグループ分けの方法
- ・教師間の意思疎通のための工夫
- ・保護者への説明

4 研究計画・対象校種等

平成１７・１８年度の２年間の調査研究とし、初年度は、小学校８教科について、研究協力委員を委嘱し、所員と協力して調査研究を行う。

特に、新規採用の教科書を教材としての実践例を作成する。

Ｈ１７年度 小学校 国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭

Ｈ１８年度 中学校 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、技術・家庭、外国語

<平成１７年度>

回	期 日	内 容
第１回	５月 (17日)	・委嘱状交付 ・全体会（趣旨説明） ・教科別会議（研究内容及び方向性の確認）
第２回	６月	・協力委員の学校における研究の経過報告、授業者の決定
第３回	８月	・協力委員の学校における研究の経過報告 ・検証授業における学習指導案の検討
第４回	９～１０月	・検証授業 ・授業に関する協議、次回検証授業に向けての課題の明確化
第５回	１０～１１月	・検証授業 ・授業に関する協議、研究のまとめ、報告書の分担
第６回	１１～１２月	・報告書の作成
	１月	・報告書の完成
	３月	・報告書のセンターＨＰ掲載